

平成29年度 経営支援事例報告書

【テーマ】

支援区分	経営革新
支援テーマ	人材不足を生産性向上により補完するための支援

【企業の概要】

名称	株式会社川口精工	創業年	1998年
代表者	川口 博之	業種	金属製品製造業
商工会	岩美町商工会	(取扱い商品等)	半導体設備等金属部品

【支援の概要】

1. 相談の経緯

個人事業主時代より、継続して財務分析・簡易診断・金融斡旋など行ってきた。順調に売上が向上する反面、生産能力が大きく不足しており、従業員の残業対応はもとより、役員の深夜にも近い残業により何とか納期を守るという状況が常態化してきていた。それらを軽減するために従業員を募集するも思うように集まらず、対策を講じるための支援を開始した。

2. 経営課題

平成10年に個人事業として創業し、創業以降順調に売上が伸びて平成27年に法人化。主に電機・半導体設備の金属部品を製造しており、材料仕入からプライス加工・表面処理まで一貫して行っている。法人成りしてから日が浅く生産体制の構築が後手に回り、ひたすらに注文をこなす状況が常態化しており、収益性を確保しながらも生産性を向上させることが課題であった。

3. 支援内容

- ① 財務分析・SWOT分析を実施し、生産効率の向上による付加価値化へ方向性を決定。
- ② 生産工程上におけるボトルネック工程の洗い出し。(ヒアリング・現場確認)
- ③ ボトルネック工程を解消し、生産性の向上に資する設備投資計画を踏まえた計画策定。
 - ▶ ものづくり補助金申請書策定支援。(製品検査精度の向上、生産効率アップに必要な自動三次元測定機導入)
 - ▶ 経営力向上計画認定申請支援・県版経営革新<生産性向上型>申請書作成支援。

4. 支援の成果

- 業務量の平準化が図れるようになり、生産性が向上した。
- 三次元座標測定機を導入したことで検査精度が向上し、客先からの評価が高まった。また、商談会に参加した際、一つの強みとして評価いただいている。

【売上・粗利推移】

	対前年比 (%)	
	売上	粗利
H28.3	—	—
H29.3	102.1	112.5

5. 成果物等の写真

ものづくり補助金で導入した

【三次元座標測定機】



6. 事業者の声

ものづくり補助金・県版経営革新<生産性向上型>を活用することで生産性を向上させるための設備を導入することができ、人材不足は否めないものの生産能力の向上が図れました。今後も、継続して支援をお願いします。

【報告者】

センター	東部商工会産業支援センター	担当者名	山根 光平
------	---------------	------	-------